

## 会派さきがけ+1名 研修報告書

研修場所 鳥取県琴浦町・境港市・智頭町  
研修内容 琴浦町 予約型ことうらバスの運行について  
(スクールバスの活用)  
境港市「水木しげる記念館」の現状  
智頭町 疎開保険について  
智頭町百人委員会について

参加者名 塩田 勉、佐々木 喜一、播磨 博一、佐藤 誠洋、寿松木 孝

研修日程 令和1年6月26日(水)～28日(金)

26日

秋田空港 - 羽田空港 - 米子空港 - 琴浦町 - 米子市内泊

26日

ホテル - 境港市「水木しげる記念館」 - 鳥取市内泊

27日

ホテル - 智頭町 - 鳥取空港 - 羽田空港 - 秋田空港

研修経費

\*内容は別紙

合 計 369,730円 ÷ 5人 = 73,946円

一人当たり負担金 73,946円 以上の通り報告致します。

令和1年 月 日

佐々木 喜 一



[別紙]

月日	金額	適用
6月20日	347,400	旅費(航空機・宿泊代・レンタカー代含む)
6月26日	1,080	高速代(ETCのため領収書なし)
	5,000	1,000X5 琴浦町研修資料代金
6月27日	3,500	700円 X5 水木しげる記念館入館料
6月28日	5,000	1,000X5 智頭町研修資料代金
	5,140	レンタカーガソリン代
	1,530	秋田空港駐車料金
	1,080	高速代(ETCのため領収書なし)
合計	369,730 円	

## 1. 琴浦町 予約型ことうらバスの運行についての経緯

### ○運行事業者からの事業撤退の申し入れ

琴浦町では昨年度まで路線バス、デマンド路線、スクールバスの運行をバス、タクシー事業者へ委託契約を行っていたが、昨年8月に受託していた全ての事業者から平成31年度以降事業を撤退したい旨の申し入れを受けた。

その後、これまでの業者との協議を継続しつつ新たな委託先も検討したところ一路線を除いて委託することとした。

### ○デマンド路線とスクールバスとの混乗の検討

委託先の決まっていないデマンド路線は、スクールバスと経路が重複していたため、混乗による運行が可能かの検討を行った。

デマンドのこれまでの乗車実績から、スクールバスの定員には余裕があることから混乗が可能であったことから、運行ダイヤをスクールバスに合わせることで効率的な運行が可能と判断し、スクールバス運行予定事業者と交渉し受託の意向を確認した。

### ○実際の運用に際し…

上記の検討結果を受け教育委員会との調整を経て、保護者への説明と同意を得た。また、スクールバスを活用するため承認申請など様々な手続きを経て実施となった。

\*所 感

スクールバスに一般住民を乗せせることが出来る  
ことを示している。



## 2. 境港市「水木しげる記念館」の現状について

平成15年にオープンした水木しげる記念館、数年前にもこの記念館を視察したが、その時点ではゲゲゲの女房の放送後だったこともあり、それなりの賑わいを感じた。ただ、これらの施設はリピーターの確保が難しいとも言われていることもあり、その後の状況を確認すべく来館してきました。

施設の方の話では、平成29年～30年にかけて水木しげるロードや記念館、鬼太郎列車のリニューアルなどの効果もあり、来館者数は若干の伸びがあるとの内容でした。



\*所 感

家族や若者に合ったさまざまなリニューアルの姿があった。

### 3 智頭町「疎開保険」・「百人委員会」について

智頭町で展開している疎開保険は、災害を切り口とした地域間交流や地域おこしも視野に入れた事業だった。

地震などの災害が発生した場合に疎開していただき1泊3食7日間の生活を保障する仕組み、保険代金は一人10000円/年、ファミリー3~4人コースが20000円で加入できるとのことで、現在150名ほどの加入実績との事であった。

また、百人委員会については、高校生以上の町民や町内に勤務をされている方々を委員とし、7つの部会に分かれて所属していただき政策提案をし、町長等と予算交渉を経て議会が審査する仕組みで地域の声をダイレクトに反映させる仕組みであった。

\*所 感

地域おこしにフタゲマいくには、相当な工夫が必要に思った。

